



ミレニアの米国MR研修

研修のコンセプト

病院の在院日数短縮化と在宅医療への移行、エビデンスによる治療法選択、DPC(診断別包括支払い制度)、ブランド薬からジェネリックへの移行など米国の医療システムが多く日本に導入されている。現場視察及びスタッフとのディスカッションを通して、米国医療の良い点・問題点を各自が体感する事により、今後の日本の医療について考察し、その変化に「MRとしてどう対応していくのか」自ら考える機会を提供する。

研修地:カリフォルニア州 ロサンゼルス

✓ **研修内容** (ニーズに合わせて選択・カスタマイズ可、裏面のサンプルスケジュール参照)

米国医療制度概要と薬剤事情についての解説

現場視察及び医療スタッフとのディスカッションの理解を深める為、現場視察前に日本語で米国医療の特徴や米国薬剤事情について日本との比較を交えながら解説。在院日数が短く早期に在宅ケアに移行する点や、複雑な医療保険システムなどから起こる米国ならではの服薬コンプライアンスの問題などの役立ち情報を短時間で効率的にカバーする。

※ 現役MRによる講義・ディスカッション

病院・開業医クリニック対象営業活動や、学会展示・地域イベントでの活動など米国のMR活動の現状がよく理解できる。また、現場の工夫についての意見交換を通して日本のMRに役立つ情報を多く得られる機会を提供する。

※ 大学病院、大手総合病院、大手総合外来センターなどの医療現場で薬剤師含む医療スタッフとのディスカッション

各疾患エリアで使用されている各種薬剤の現場評価や使用現状、新薬トレンド、メーカーからの医薬情報提供に関するニーズなどのディスカッションを通して、現在の米国医療現場の薬剤療法を多方面から理解できる。

✓ **「ここが違う！」ミレニアの米国医療研修**

① 職人技 コーディネート

20年以上の医療研修実績から培ったノウハウで、お客様の研修希望内容をしっかり把握し、講師や視察現場スタッフと何度も事前に打ち合わせ、万全に準備します。

② とにかく分かりやすい！ 通訳

日米の医療現場を熟知し、インタビュー能力の優れたプロだからこそできる通訳。米国人現場スタッフと自由に意思疎通ができるから、ストレスがありません。



✓ **過去の医療研修実績例**

東京大学附属病院、山口大学附属病院、福井大学附属病院、大分大学附属病院、名古屋市立大学病院
徳洲会グループ 看護部、厚生労働省、看護協会(徳島、山口、岐阜、群馬など)、アイン・ファーマシーズ、他

✓ サンプル・スケジュール

日程	午前	午後
1	ミレニア社による講義	現場視察① 大手大学病院
	◆ 米国医療制度概要	・薬剤利用部門薬剤師とのディスカッション (以下トピックより選択)
	- 各医療サービスと患者の流れ・日米比較	- 各エリアで使用されている各種薬剤に対する評価と使用量
	- DRG制度(疾病別包括支払い方式)採用による在院 日数短縮等の医療システム変換	- 各エリアの治験実施状況
	- 医療保険制度とマネージドケア (公的医療保険・民間医療保険とマネージドケアの仕組み)	- ブランド薬とジェネリック薬の使用状況
		- 米国での薬物療法における医師・薬剤師の役割・連携
		- 院内採用薬リストを通じての薬剤コスト管理と質のバランス
		- 医師・看護師に対する医薬情報提供におけるMRとの連携
		・病棟現場視察 (内容例: 薬剤カートシステムの紹介、ユニット担当薬剤師との質疑応答)
		・専門医又はナースプラクティショナーとのディスカッション (以下トピックより選択)
2	MRによる講義・ディスカッション	現場視察② 大手急性期コミュニティ病院
	◆ 米国での医薬品営業活動の実情 (以下トピックより選択)	・薬剤師とのディスカッション
	- 病院・開業医クリニック対象営業活動の実際	- 各エリアで使用されている各種薬剤に対する評価と使用量
	- 学会展示、地域イベントでの啓蒙活動	- ブランド薬とジェネリック薬の使用状況
	- 1日のMR業務の流れ	- 医師・看護師に対する医薬情報提供におけるMRとの連携
	- PRツールの紹介と活用規制状況	・病棟現場視察 (内容例: 看護管理者・病棟薬剤師との質疑応答)
	- 米国のMR認定制度	
	- 継続教育・キャリア支援体制	
3	現場視察③ 大手総合外来センター	現場視察④ 大手ドラッグストア
	・専門医とのディスカッション (以下トピックより選択)	・現場視察(調剤薬局内、予防接種室など)
	- 各種薬剤の使用現状と選択基準	・薬局マネージャーとのディスカッション (トピック例)
	- 新薬を試す際の判断基準・サンプル薬の使用状況	- 各種薬剤の販売トレンドと消費者の評価
	- MRとのコミュニケーションの実情	- 服薬指導の現状と課題
	- 患者教育用ツールの紹介	- 医師・メーカーとの連携の実際
	・病棟現場視察	
		米国MR研修 修了書の授与

視察先の事情により、研修先・内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

作成:ミレニアエデュケーション Copyright © Millennia Education 2013 本紙の無断複写・改造を禁止します。

お問い合わせ

ミレニア・エデュケーション

Millennia Holdings, Inc.

E-mail: info@iryu-kenshu.com

Web: www.iryu-kenshu.com

Tel: 1(米国 国番号)-213-252-1230